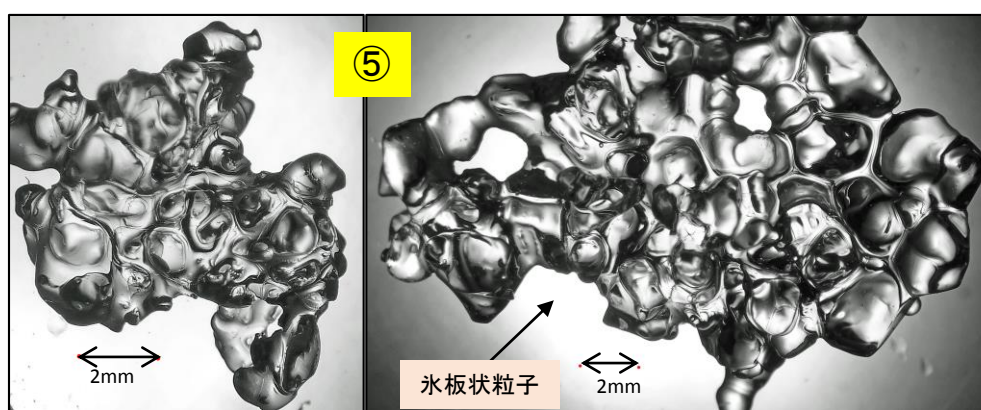
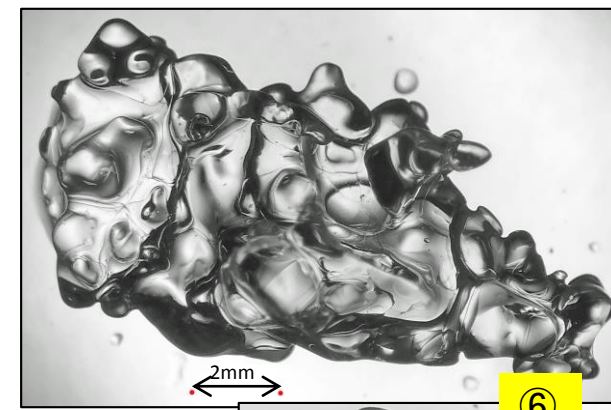


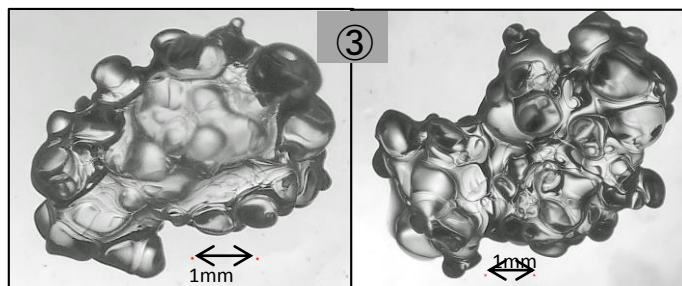
ざらめ



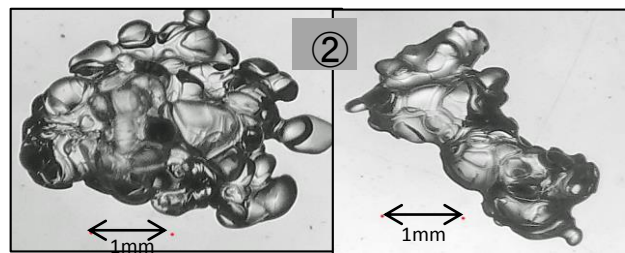
ざらめ



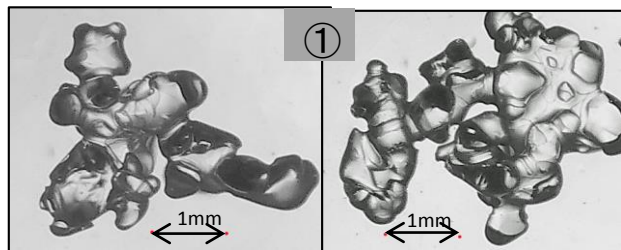
⑥



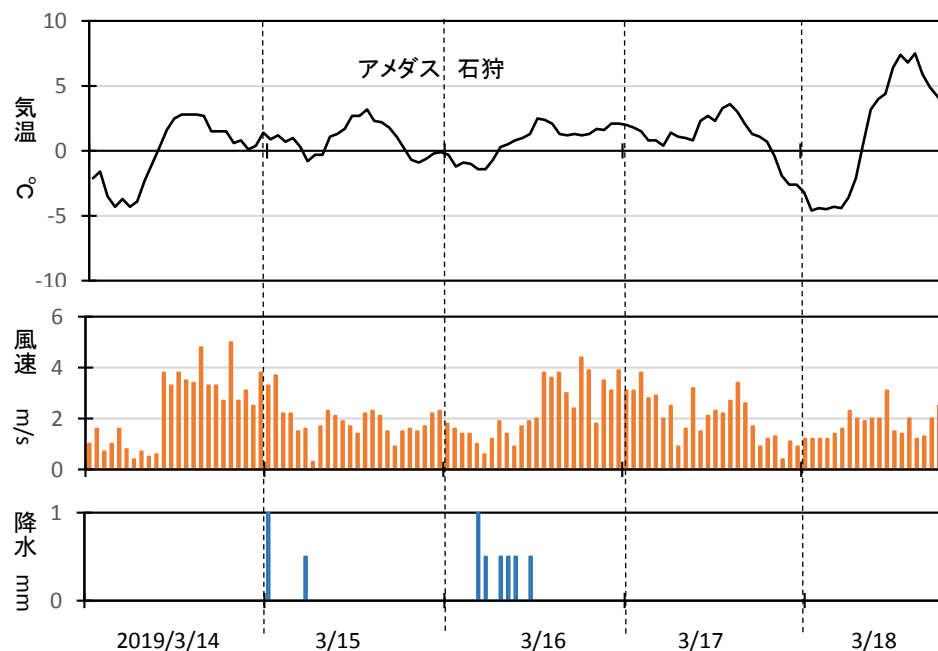
ざらめ



ざらめ・しまり



ざらめ・しまり



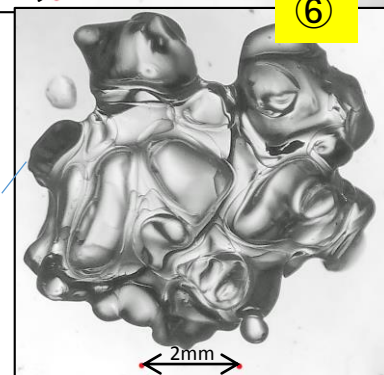
上層は何度も融解再凍結を繰り返しているのので、“ざらめ雪の粒子は大きくなった”。一方下層は長期間湿り雪の状態(0°C)に保たれ再凍結なし。“粒子の粗大化が進まず、”しまり雪も残っていた。

2019/3/18 16:00 晴
 気温+9.7°C 積雪は全層
 ぬれ雪。H=52cm

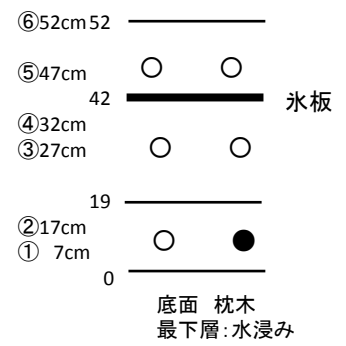
冷却箱は気温何度まで使えるか(雪粒子を融かさずに撮影できるか)。

外気温+9.7°C、冷却箱内は-4°C程度に下がった状態で撮影開始。カーテンを頻繁に開閉するので、撮影中+2°C前後で推移。撮影終了後の冷媒温度-6.7°C。ざらめ雪は一個一個の質量が大きいので、短時間なら+2°Cでの融解は少ないであろう。新雪のような細い枝や小さな粒子では融解は無視できない。

①~③: 矢印 1mm
 ④~⑥: 矢印 2mm



ざらめ



全層: 濡れ雪